

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	大場地区専用水道管理運営費					
担 当 課 係 名	環境防災 課		生活環境 係		作成者	加藤隆政
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	水道の安定供給と施設の整備				
	主要施策	施設の維持管理				76
予 算 費 目	一般 会計	4 款 衛生費	2 項 水道費	4 目 専用水道費		
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分			
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市水道事業給水条例					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	角館町大場地区住民
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	良質な生活用水を安定的に供給する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	浄水場及び吸水管の管理運営、受益者からの水道料収納業務、水質検査業務

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	供給水量	立米	1,613	1,727		
	成果指標	給水世帯 / 給水可能世帯数（加入率）	%	93	93		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			795	775		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		795	775		
	人 件 費 (B)		—	785	807		
		職 員 数	—	0.1	0.1		
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,580	1,582		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	980	916	
				—			
市民1人当たりのコスト(円)		—	50	50			

【事務事業の今までの成果】

生活用水の不安が解消され、順調に運営されている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	上水道の普及率向上は他自治体でも課題である。将来的には、上水道に統合される可能性もある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	受益者28世帯の満足度は高い。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	受益者の満足度が高いこと。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	地下水の湧水地区であるため、良質な飲料水を引き続き安定的に供給する必要がある。

一次評価診断図

